



## 書籍の購入はこちら

日経BP SHOP

amazon.co.jp

Rakuten ブックス

honto

## 電子書籍の購入はこちら

※電子書籍の価格は  
各ストアでご確認ください。

kindle

Rakuten kobo

honto

BookLive

紀伊國屋書店

BOOK☆WALKER

## みずほ銀行システム統合、苦闘の19年史

史上最大のITプロジェクト「3度目の正直」

価格 : 1,980円(税込)  
ISBN : 978-4-296-10535-9  
発行日 : 2020年2月18日  
著者名 : 日経コンピュータ、山端 宏実、岡部 一詩、中田 敦、大和田 尚孝、谷 島 宣之 著  
発行元 : 日経BP  
ページ数 : 256ページ  
判型 : 四六判

※電子書籍は価格や一部内容が異なる場合がございます。

シェア Tweet



## 内容紹介

## ついに完成した「IT業界のサグラダファミリア」、その裏側に迫る

みずほフィナンシャルグループ(FG)が2011年から進めてきた「勘定系システム」の刷新・統合プロジェクトが2019年7月、ついに完了した。

富士通、日立製作所、日本IBM、NTTデータを筆頭に1000社ものシステムインテグレーターが参加したものの、2度にわたって開発完了が延期になったことから、なかなか完成しないスペイン・バルセロナの教会にちなんで「IT業界のサグラダファミリア」とまで呼ばれた史上最大級のITプロジェクトだ。みずほFGは完了までに8年もの年月と、35万人月、4000億円台半ばをつぎ込んだ。

1980年代に稼働した「第3次オンラインシステム」の全面刷新は、第一勧業銀行、富士銀行、日本興業銀行の3行が統合したみずほFGにとって、2000年の発足以来の悲願だった。

しかしシステム刷新は何度も挫折し、2002年と2011年には大規模なシステム障害を引き起こした。80年代の非効率的な事務フローが残ったままになるなど、勘定系システムの老朽化は経営の足かせになっていた。

なぜみずほ銀行のシステム刷新は、これほどまでに長引いたのか。そして今回はどうやって完了に導いたのか。「メガバンクの勘定系システムとして初となるSOA(サービス指向アーキテクチャ)全面導入」「AS IS(現状通り)を禁止した要件定義」「1000社のシステムインテグレーターを巻き込んだプロジェクト管理」など、新勘定系システム「MINORI」開発の全貌と、みずほ銀行がこれから目指す金融デジタル化戦略を、みずほFGにおける19年の苦闘の歴史を追いかけて続けた情報システム専門誌「日経コンピュータ」が解き明かす。

多くの日本企業が直面する情報システムの老朽化問題、「2025年の崖」を乗り

日:  
ら!『F:  
日:  
ま:『F:  
数:  
「2  
年」  
第  
20  
20  
受:『2  
「N  
彦  
が:  
8E  
月:『2  
年:  
さ  
月  
(N『重  
な  
2月  
1月  
・  
出:『ど  
20  
載:  
ス  
紹:3月  
報最:  
年:  
26  
刊:  
聞

越えるヒントがここにある。

## 《目次》

はじめに

### 第一部 IT業界のサグラダファミリア、ついに完成す

第1章 三十五万人月、四千億円台半ば、巨大プロジェクトはこうして始まった

第2章 さらば八〇年代、新システム「MINORI」の全貌

第3章 参加ベンダー千社、驚愕のプロジェクト管理

第4章 緊張と重圧、一年がかりのシステム移行

第5章 次の課題はデジタル変革

第6章 「進退を賭けて指揮した」

みずほフィナンシャルグループ 坂井辰史社長 インタビュー

### 第二部 震災直後、『またか』の大規模障害

第7章 検証、混迷の十日間

第8章 重なった三十の不手際

第9章 一年をかけた再発防止策

### 第三部 合併直後、『まさか』の大規模障害

第10章 現場任せが諸悪の根源

第11章 無理なシステム統合計画を立案

第12章 大混乱の二〇〇二年四月

おわりに



[日経BPブックナビについて](#) [お問い合わせ](#) [アクセス履歴の収集とサービス提供について](#)

[会社情報・お知らせ](#) [著作権/リンク](#) [記事の二次利用](#) [個人情報について](#) [日経ID利用案内](#)

Copyright © 2021 Nikkei Business Publications, Inc. All Rights Reserved.

PC版 | [モバイル版](#)